

# 産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

## 取組の概要

取組の概要 : 産地の強みを生かした高収益作物の導入と高付加価値化による販売額の増加  
計画作成主体 : 中札内村地域担い手育成総合支援協議会  
対象品目 : サヤインゲン (産地面積: 140ha)  
主な取組主体 : 中札内村農業協同組合  
成果目標 : 販売額の10%以上の増加(10aあたり)  
助成金の活用 : 生産支援事業(インゲンハーベスター)  
状況

## ポイント

インゲンハーベスターを導入し、収穫可能面積の拡大と適期収穫による収穫量の増加と品質向上。  
サヤインゲンの生産・加工・販売の一体化による高付加価値化により販路を拡大し、販売額55%以上(10aあたり)の増加を実現。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

現状:H27年度

作付面積 : 49.1ha  
生産数量 : 508 t  
販売額 : 62,374円/10a

目標:H30年度

作付面積 : 140ha  
生産数量 : 1,494 t  
販売額 : 96,879円/10a



## 推進体制

地域の関係者(農業者、JA中札内村、農業改良普及センター、中札内村)の役割分担を明確にし、連携協力して取組を推進。

## 地域における独自の取組

### 主な取組

収益性の高いサヤインゲンを作付けし、収穫後直ちに冷凍インゲンに加工処理し、販売している。

### 他の事業

作付面積の拡大や、単収向上等に併い、農畜産物輸出拡大施設整備事業(27年度補正予算)により、農産物処理加工施設を整備。

## 事業効果

○高収益性のあるサヤインゲンを作付けし、収穫後直ちに、冷凍枝豆に加工処理することでブランド化と販路拡大に成功。  
インゲンハーベスターを導入することにより、生産及び出荷の拡大、収穫期間短縮による品質向上が図られ、生産者の所得向上につながり産地強化を実現。

### ~ サヤインゲンの販売額 (10aあたり) ~

